

# 令和7年度 こども園（保育園）関係者評価

## 施設評価シート

子育てセンターやまびこ

### こども園（保育園）関係者評価委員会による評価

対象評価： 最終評価

評価日時： 令和 8年 2月 5日 9：30～11：00

### 【こども園（保育園）関係者評価委員会構成】

学識委員 1名 地域委員 1名 保護者委員 2名

### 【園の教育・保育目標】

自然大好き、友だち大好き、生き生き遊ぶ子

【本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した  
こども園（保育園）評価の具体的な目標や計画】

「主体的に遊び みんなで育ちあう」

やまびこの環境を活かし、園の目標である「自然大好き、友だち大好き、生き生き遊ぶ子」を目指して子どもが主体的に遊ぶ環境づくりを考え、計画し実践していきます。

3・4・5歳児は、コーナー遊びの充実を図ります。0・1・2歳児は、発達に合った遊びの環境を整え、手作りおもちゃや運動遊びのできる環境を整えます。

### 【評価基準について】

4・・・十分に達成されていた

3・・・ほぼ達成されていた

2・・・取り組みは見られるが達成が十分ではない

1・・・取り組みが不十分であった

項目	園評価	評価理由	最終評価	評価委員から
<b>I. 目標の理解</b> 1. グランドデザインを理解している 2. グランドデザインを意識している 3. 重点目標を意識している 4. 重点目標を意識して取り組んでいる	4	・今回は重点目標の取り組みとして子どもたちが主体的に遊べるように職員間で計画、実践を行い、カンファレンスで毎月、保育の振り返りを行い、意識して取り組むことができた。 ・様々な勤務形態の職員が混在しているため、コミュニケーションノートや早退の引継ぎノートの活用、職員会議での情報共有を図るようにした。	4	・グランドデザインや重点目標を意識し、実践できているのではないかと。 ・好きな遊びを自分で選んで、満足感を感じている。 ・単年度ではなく、長期的視野を持って計画し教育・保育に取り組んでいる。 ・職員の話し合いを通して、意識して取り組んでいる。 ・単発的でなく継続的な教育・保育活動が行われている。 ・五感で感じる場の設定がなされている。
<b>II. 教育・保育の計画性と内容</b> 1. 指導計画の作成 2. 環境への配慮 3. 教育・保育活動の実践 4. 計画と実践の評価・反省	3	・クラスカンファレンスや週の話し合いを通して、職員間で情報共有を図ることで、共通の目的を持って取り組むことができた。 ・子どもの興味や関心にあった手作り玩具の提供や子どもが主体的に遊べるコーナー遊びの環境整備に取り組んだ。 ・清潔感のある環境を心掛けてきてはいるが、すぐに道具置き場や倉庫が乱雑になってしまう。	4	・クラスカンファや話し合いを通して、共通の目的を持って教育・保育を行っていた。 ・指導要領に沿って職員間で話し合いを深めて教育・保育が展開されていた。 ・子どもたちをしっかりと見てあそびの提供がされている。 ・人間関係の円滑さが、職場環境の安心、安全につながっていると感じる。
<b>III. 子どもにとっては</b> 1. その子らしさが認められる 2. ゆったりとした生活 3. 自然に触れて心行くまで遊ぶ 4. いろいろな人の中で自分を知る	3	・複合施設の園という特色を活かし、ティサービスや児童クラブとの交流を多く持つことができた。 ・豊かな自然を活かし、教育・保育活動の中に取り入れることができた。 ・子どもの遊びや学びの連続性という点では、遊びが継続展開せず単発になってしまうことが多いため遊びのつながりや展開を考えていきたい。 ・動植物の飼育栽培では、観察はできたが飼育栽培に繋がるような環境設定が行き届かなかった。 ・個々の対応や配慮について職員周知を図ってきたが課題が見られる。	3	・自然環境には恵まれていて活用出来ていると感じるが、園内で栽培している植物が枯れたままになっていることが気になる。（枯れることを知ることは大切だが、長期間放置されていることがあるため。） ・ティサービスの利用者の方の中には、農作業や花の栽培の得意な方がいると思うので、知恵をお借りしたらどうか？ ・迎える時、遅番の職員から日中の様子が聞けるので、伝達が出来ていると感じる。

<p><b>IV. ファミリーにとっては</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 気軽に相談できる</li> <li>2. いつでも保育に参加できる</li> <li>3. 必要な情報が得られる</li> <li>4. 保育を通して地域に親しむ</li> </ol>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブログは、月2回写真5枚を目安にアップして園の様子を発信することができた。</li> <li>・絵本の読み聞かせや学校関係の行事を通して、地域との関わりが持てた。</li> <li>・チェックリストの作成により、送迎時保護者との会話を意識して行うことができたが、時間のかけ方に個人差があるため、不満を感じている保護者がいることが予想される点が課題である。</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブログで行事の様子を頻繁にあげてくれるが、日常の取り組みを載せてくれると、園での様子が分かるので有りがたい。</li> <li>・保護者への声掛けは、年度の後半になるにつれ、少し物足りなさを感じるようになった。</li> <li>・迎えに来た時に職員がいないのは不安。担任でなくても誰か一人の職員が気が付いて、一言言葉を交わすだけでも保護者は安心する。</li> </ul>
<p><b>V. 地域にとっては</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 誰でも親しく訪ねられる</li> <li>2. 園の内容がよくわかる</li> <li>3. 緊急の時頼りになる</li> <li>4. 子育てに夢がもてるように</li> </ol>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣の公立幼稚園や小中学校との交流、保育ボランティアの受け入れを通して地域との関わりを大事にできた。</li> <li>・支援ひろばややまびこ祭りなどを通して、地域の方との関わりを多く持つことができた。</li> <li>・ブログや地域の情報誌等を通して情報発信を行っており、誰でも園の様子が分かりやすい。</li> <li>・支援ひろばでは、定期的な講座だけでなく年数回土曜日に開設したり、利用者の方が園行事に参加する機会を設けたりしている。</li> </ul>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援ひろばは、地域に住む親子にとって安心できる場所になっていると感じる。</li> <li>・やまびこ祭りに参加したが、地域の方が来てくれて賑やかだった。運動会も目に見えない所での職員のサポートがあり、子どもの自信に繋がったと感じた。</li> <li>・地域を支える施設となっている。</li> </ul>
<p><b>VI. スタッフにとっては</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 個性が活かされる</li> <li>2. 快適な職場づくり</li> <li>3. 生活や遊びの文化が伝えられる</li> <li>4. 視野を広げて自ら学ぶ</li> </ol>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本古来の伝統行事(もちつき、豆まきなど)や伝承遊び(お正月遊び)を教育・保育に取り入れているが、伝統的な遊び(かごめかごめ、花いちもんめなど)も今後保育に取り入れたい。</li> <li>・掃除担当を決め、定期的な掃除を心掛けているが、整理整頓を意識して行うと良い。</li> <li>・勤務時間帯が違う職員との報連相の難しさを感じる。(運番の職員は、日中の子どもの様子が分からない。)</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おまかせ保育システムに不具合がある時があった。(入力ができない時があった。)</li> <li>・法人のクラブ活動を通して、職員同士のコミュニケーションが深まり、職場環境の改善に繋がった。</li> <li>・サッカーの得意な職員が、子どもと一緒に練習を重ねたことで結果に結びついた。</li> <li>・職員の個性、特技を活かすことが出来ていた。</li> </ul>